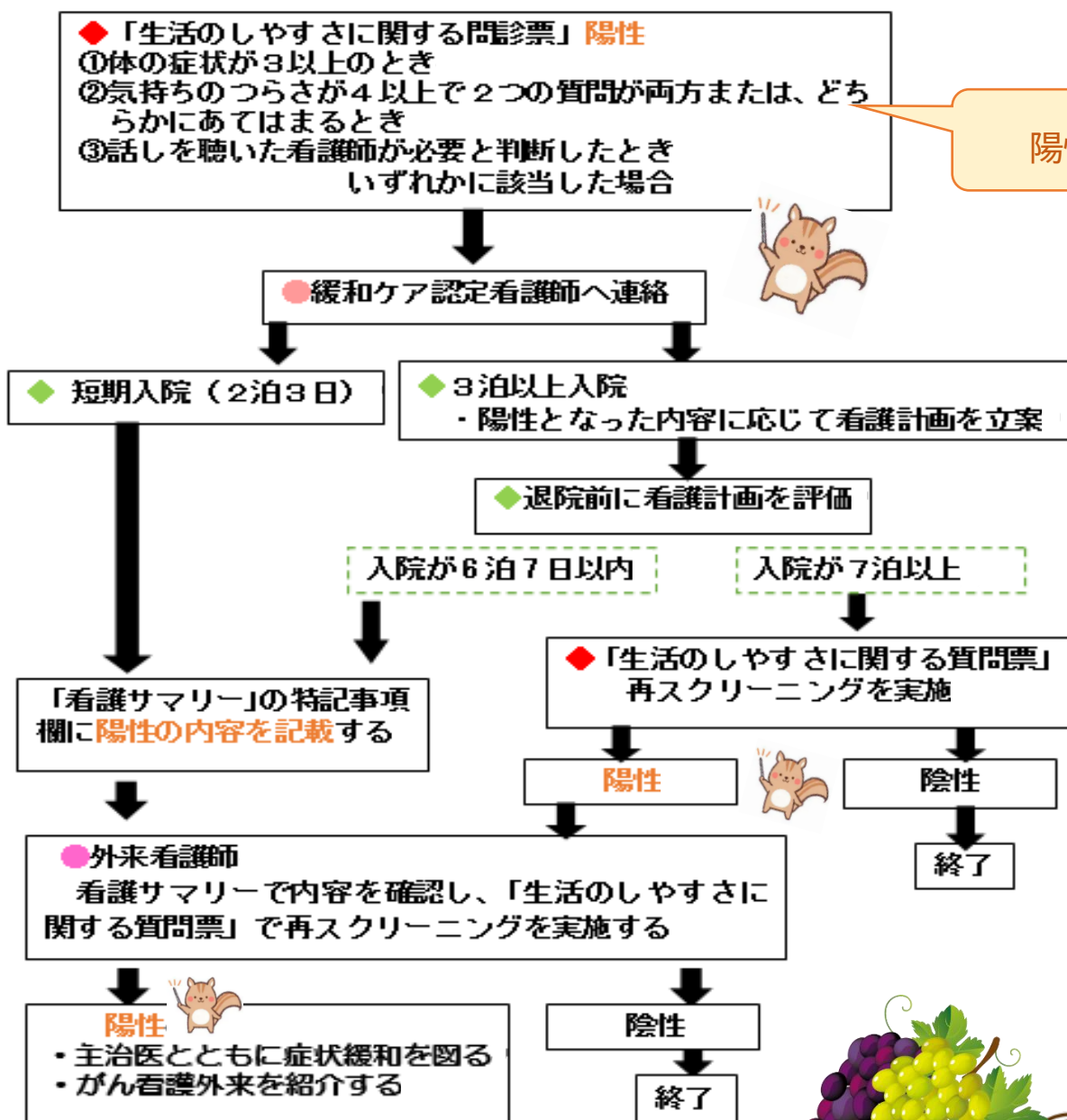




当院で 2014 年から開始された「苦痛のスクリーニング」は外来と病棟で年間 5000 件以上実施し、早期からの緩和ケア提供ツールとして活用されています。対象患者さんはがんだけでなく、心不全、腎不全、末期呼吸不全の患者さんと拡大しています。

今回は、入院時に「生活のしやすさに関する問診票」が陽性となった患者さんの退院後のサポート体制を紹介します。外来と病棟、医療福祉センター、専門外来と連携し、その時々様々な不安や悩み、ご希望をお伺いしながら切れ目なく支援できるように体制を整えています。



緩和ケアの申し込み・問い合わせは

緩和ケアリンクナース または、緩和ケアセンター 内線（3880）まで

